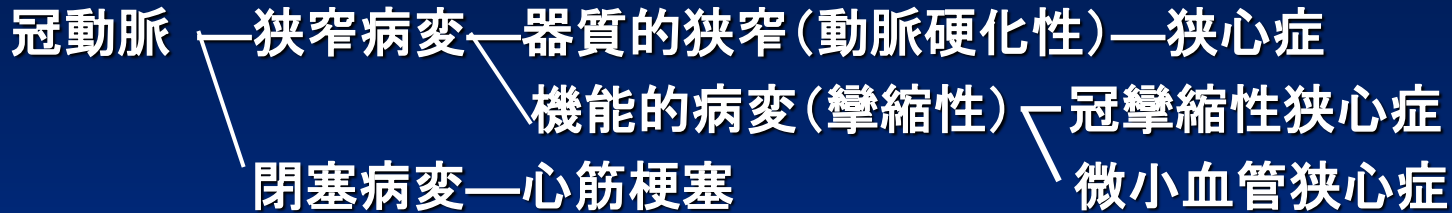


虚血性心疾患

冠動脈疾患(虚血性心疾患)



労作狭心症 — 動脈硬化性 (CCS分類)

安静狭心症 — (異型狭心症) — 冠攣縮性 (夜間安静時)

不安定狭心症移行期

安定狭心症 — 外来、薬物治療

不安定狭心症 — 心筋梗塞に移行する可能性あり、入院治療

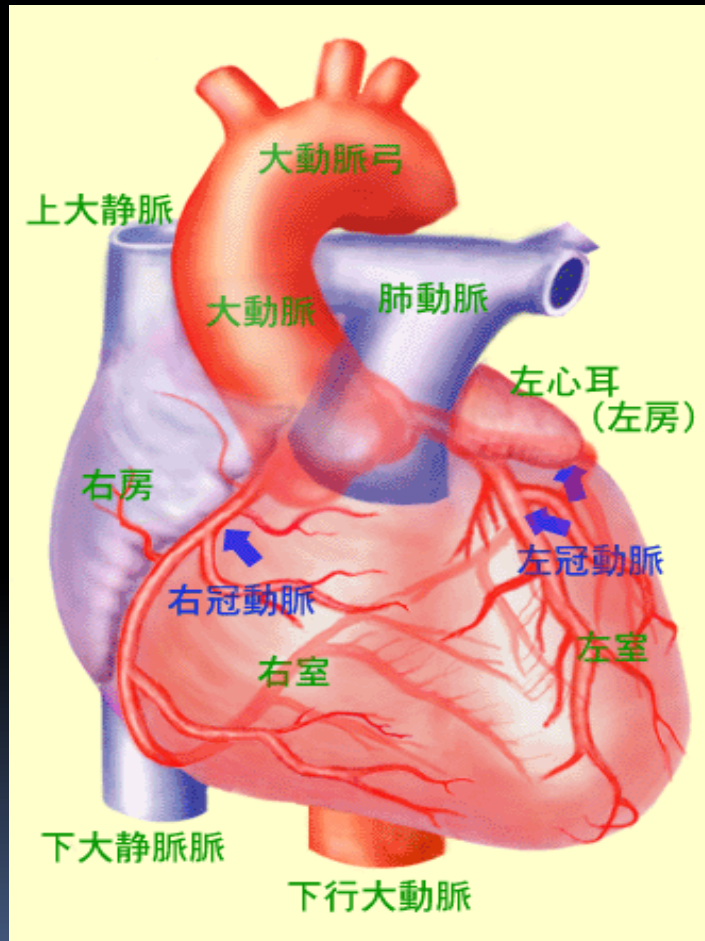
急性心筋梗塞 — 再灌流療法、入院治療

} 急性冠症候群

Braunwaldの分類

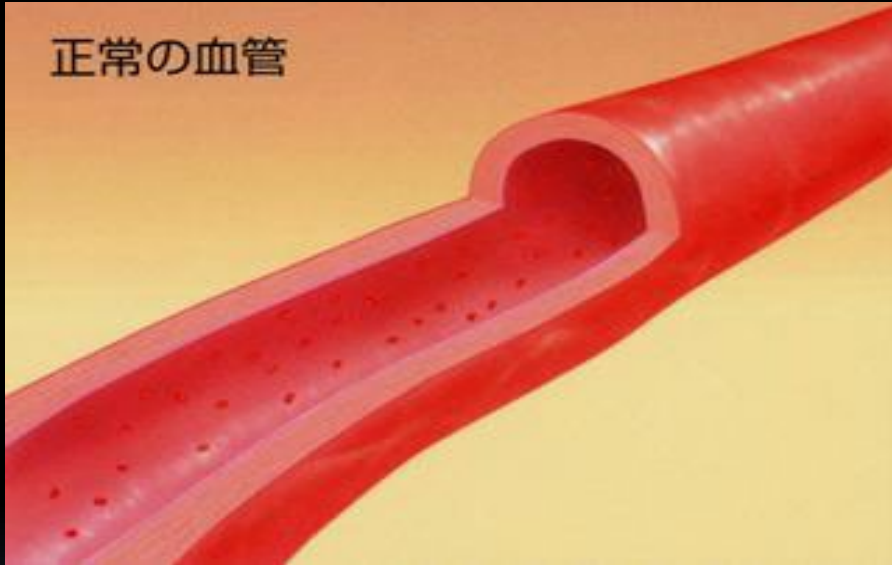
	胸痛	血行動態	非発作時	
狭心症	数分	安定	正常	可逆性
心筋梗塞	持続	不安定	異常	非可逆性

冠動脈（冠状動脈）

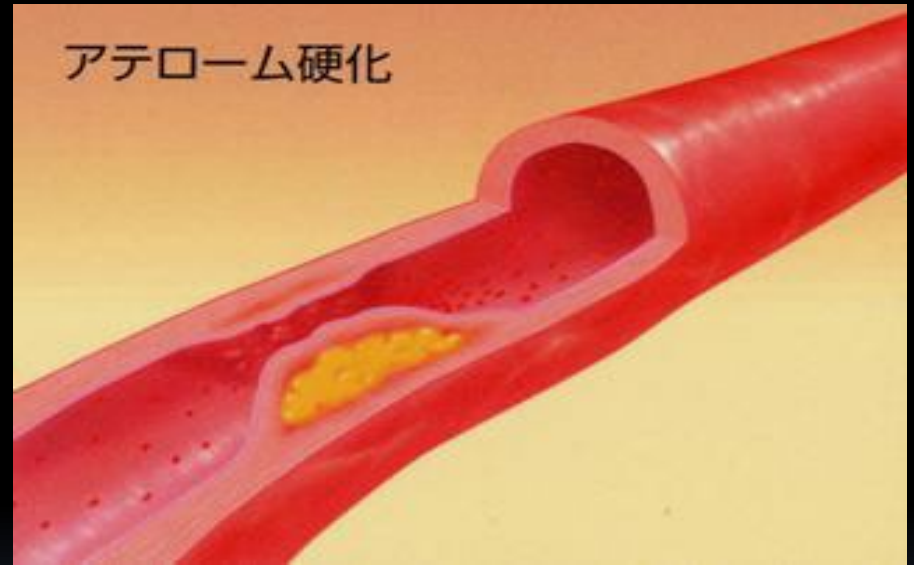


動脈硬化

正常の血管



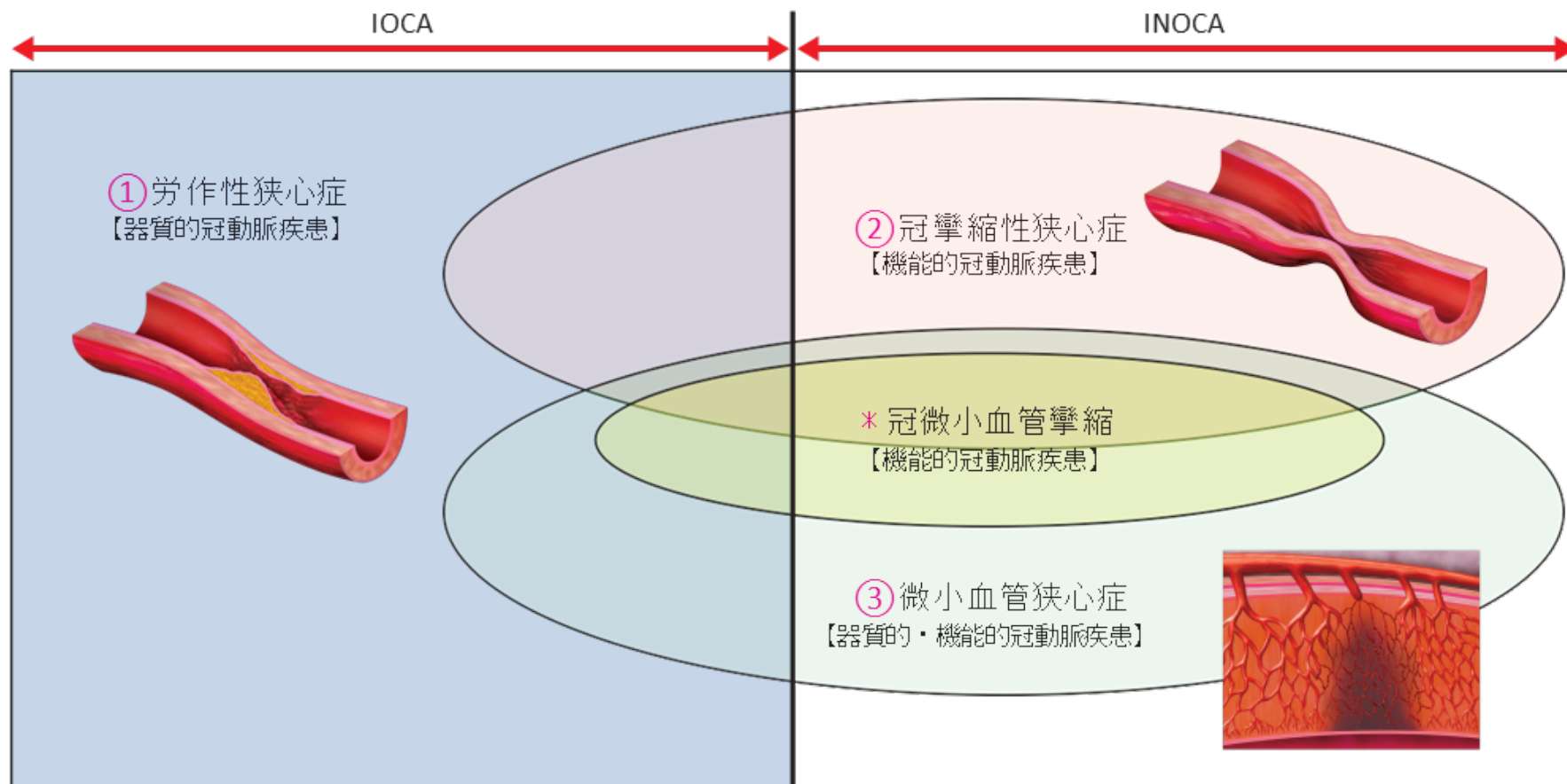
アテローム硬化



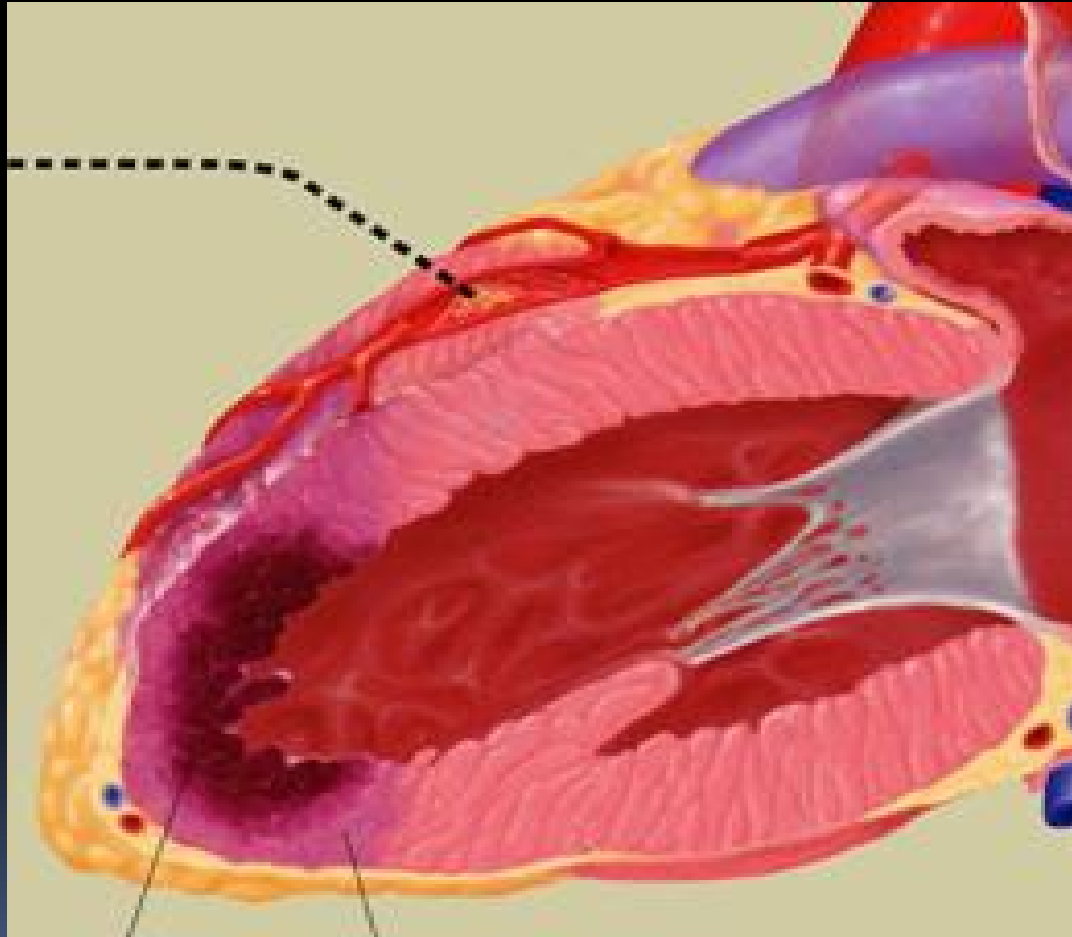
冠攣縮性狭心症 (VSA)



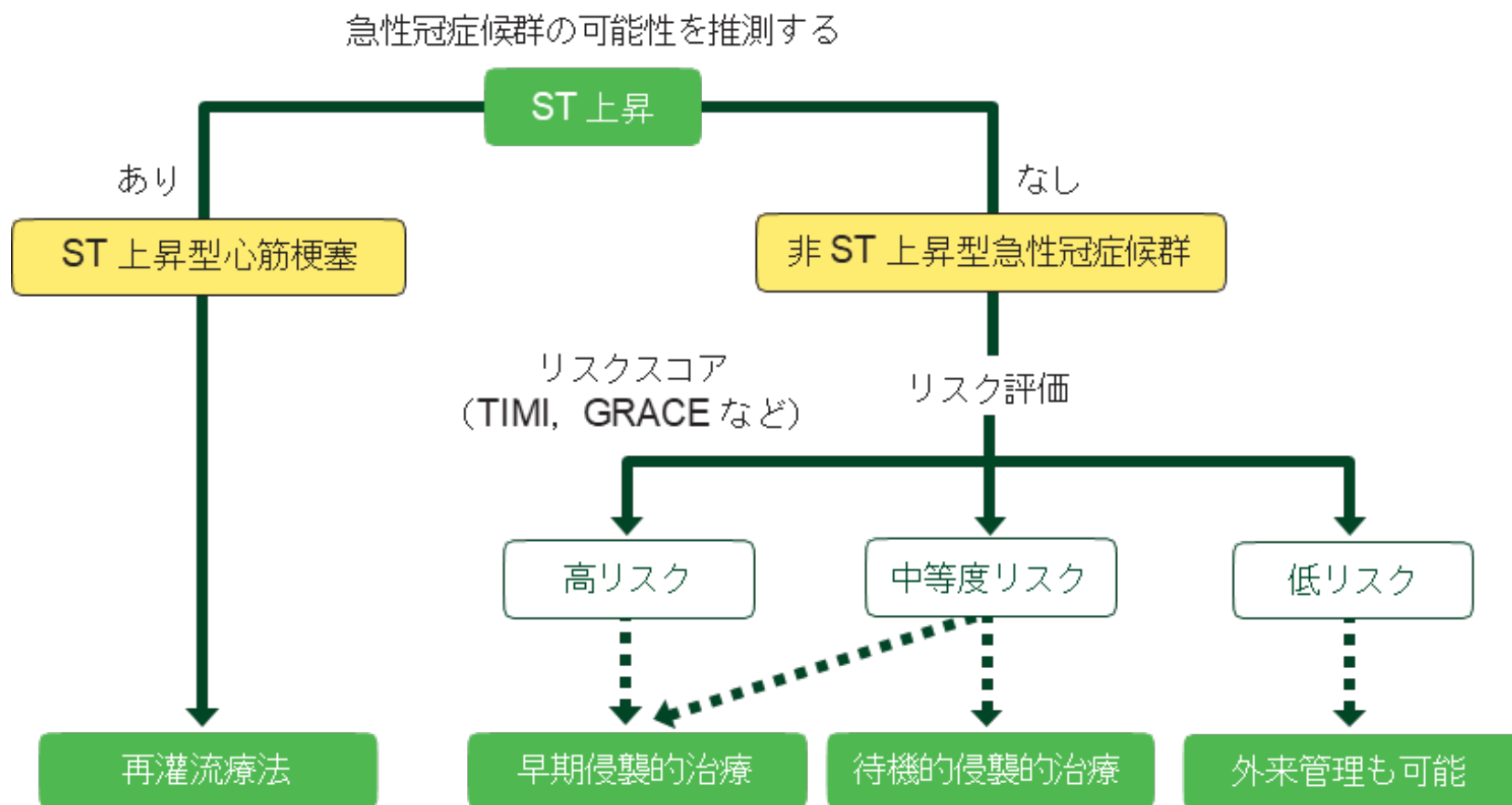
慢性冠症候群(CCS)のおもな虚血機序



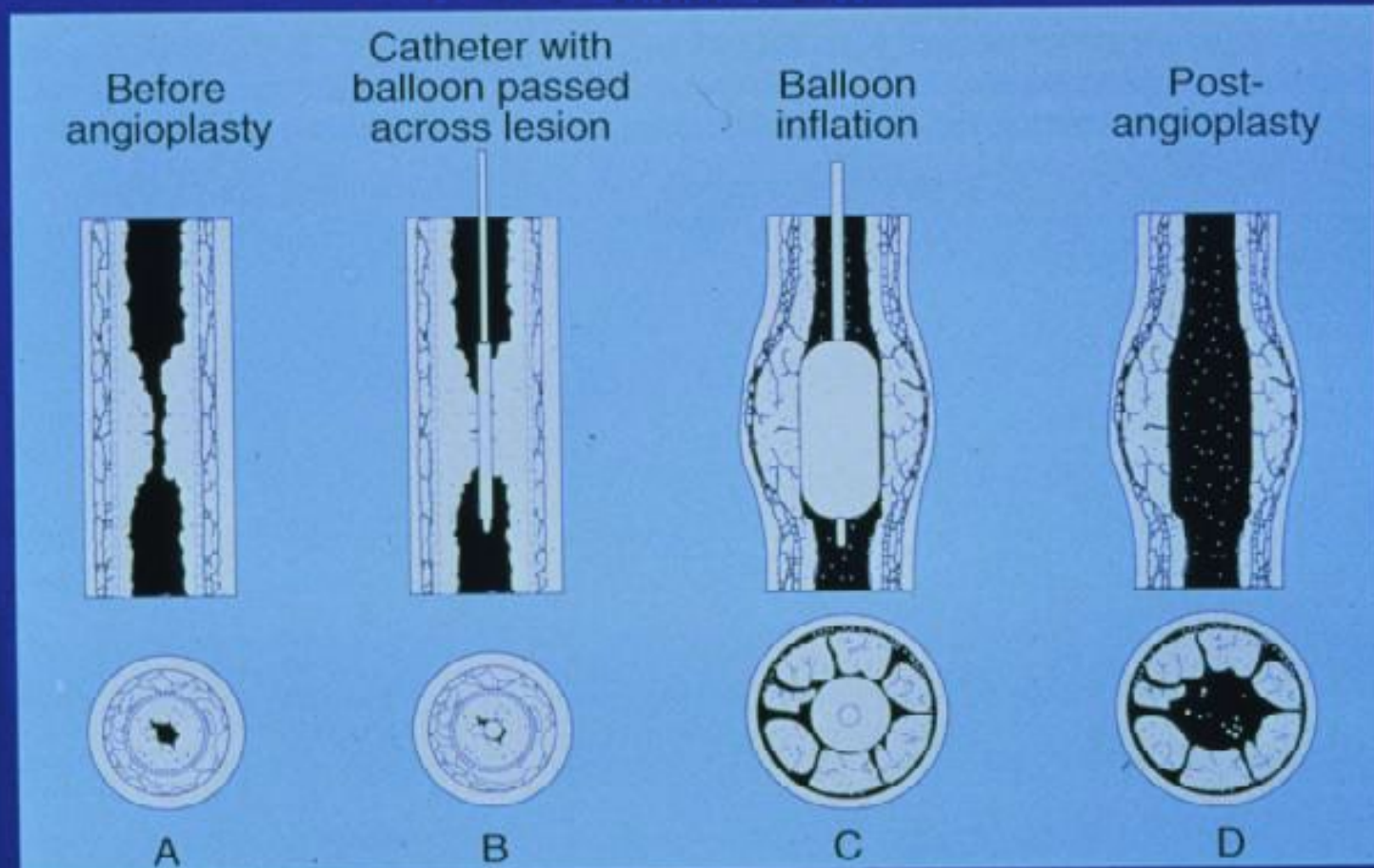
壊死した(梗塞になった)心筋



急性冠症候群の診断・治療フローチャート



冠動脈形成術（風船治療）の拡張原理



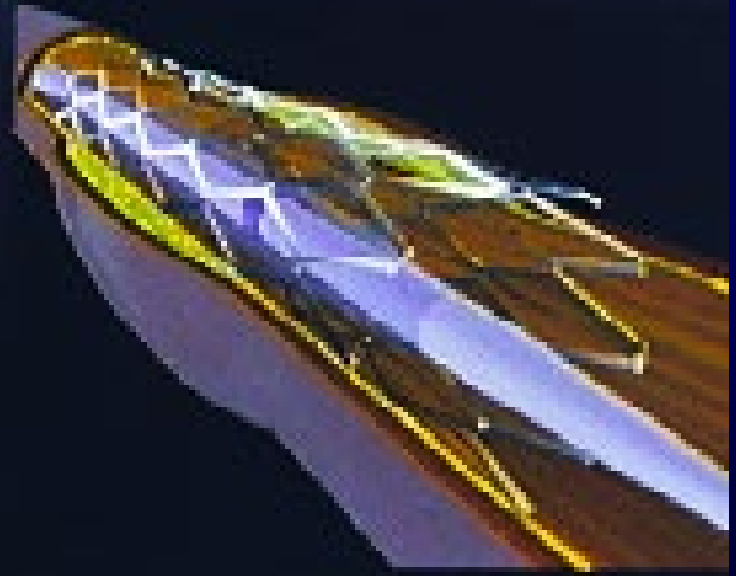
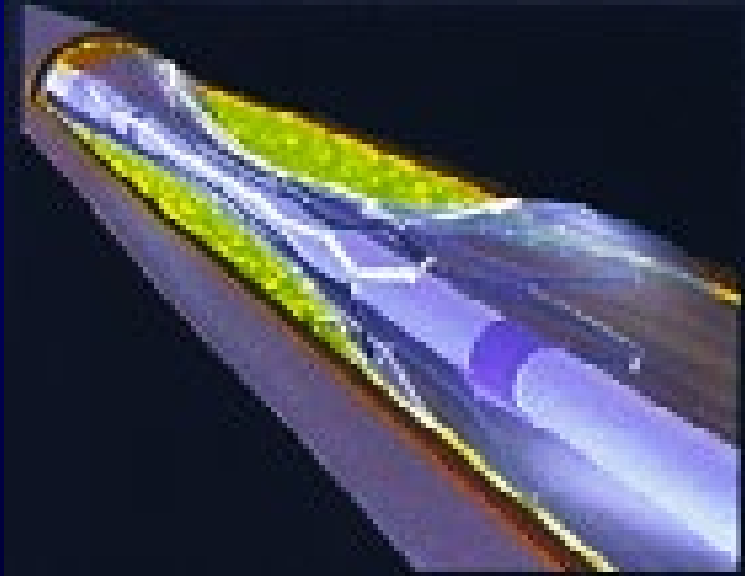
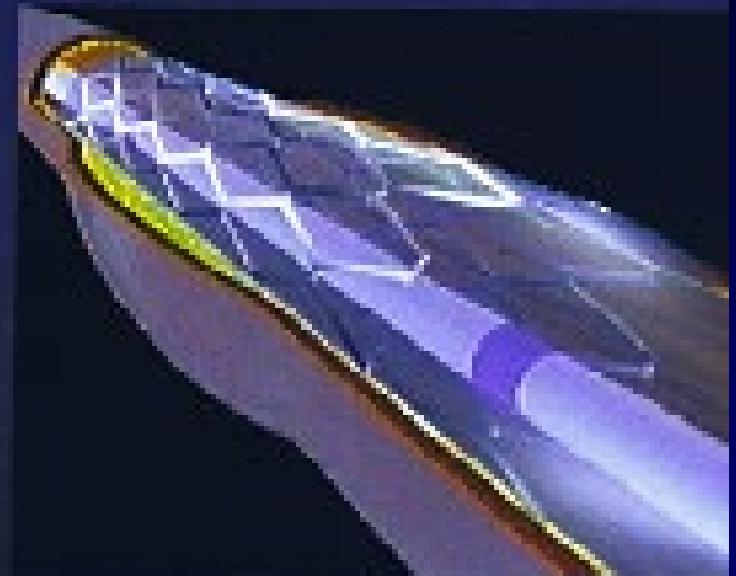
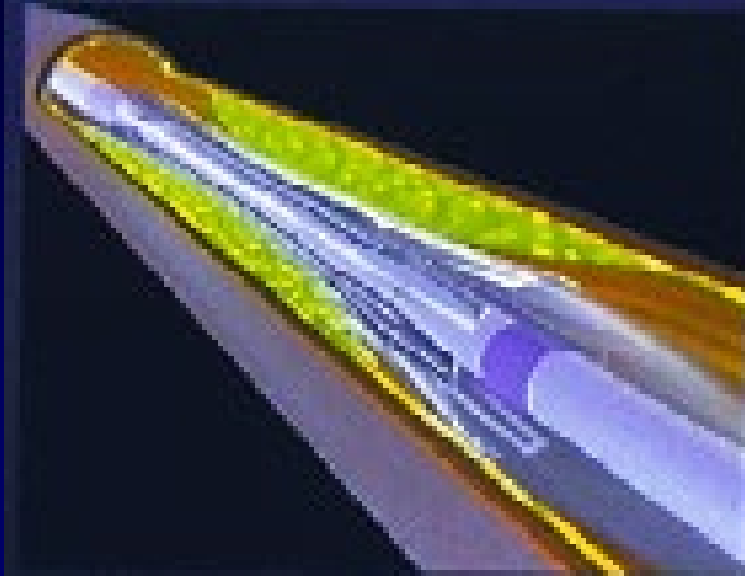
A=atherosclerotic plaque; B=catheterization; C=balloon inflation; D=widened lumen.

Castaneda-Zuniga WR et al. *Radiology*. 1980;135:565-571.



Yokohama Sakae Kyosai Hospital

冠動脈ステント留置術



虚血性心疾患治療

1. 薬物療法:

発作時: ニトログリセリン舌下(3分以内)、スプレー製剤

座位または臥位で服用、頭痛、めまい、動悸、頻脈、血圧低下、起立性低血圧、持続時間10-30分 動静脈拡張作用

非発作時: ニトロ製剤(ISDN)長時間作用型、経皮製剤—耐性発現

ベータ遮断薬 特に労作性 心拍数、心収縮力、酸素需要量低下

カルシウム拮抗薬 特に冠攣縮性

2. 冠動脈形成術: 一枝、二枝病変—再狭窄

バルーンで狭窄部分を拡張(PTCA)

狭窄部分を削り取る(DCA, Rotablator)

ステンレスの網目状円筒を狭窄部分に埋め込む(Stent)

3. 冠動脈バイパス手術(CABG): 三枝病変、左主幹部病変

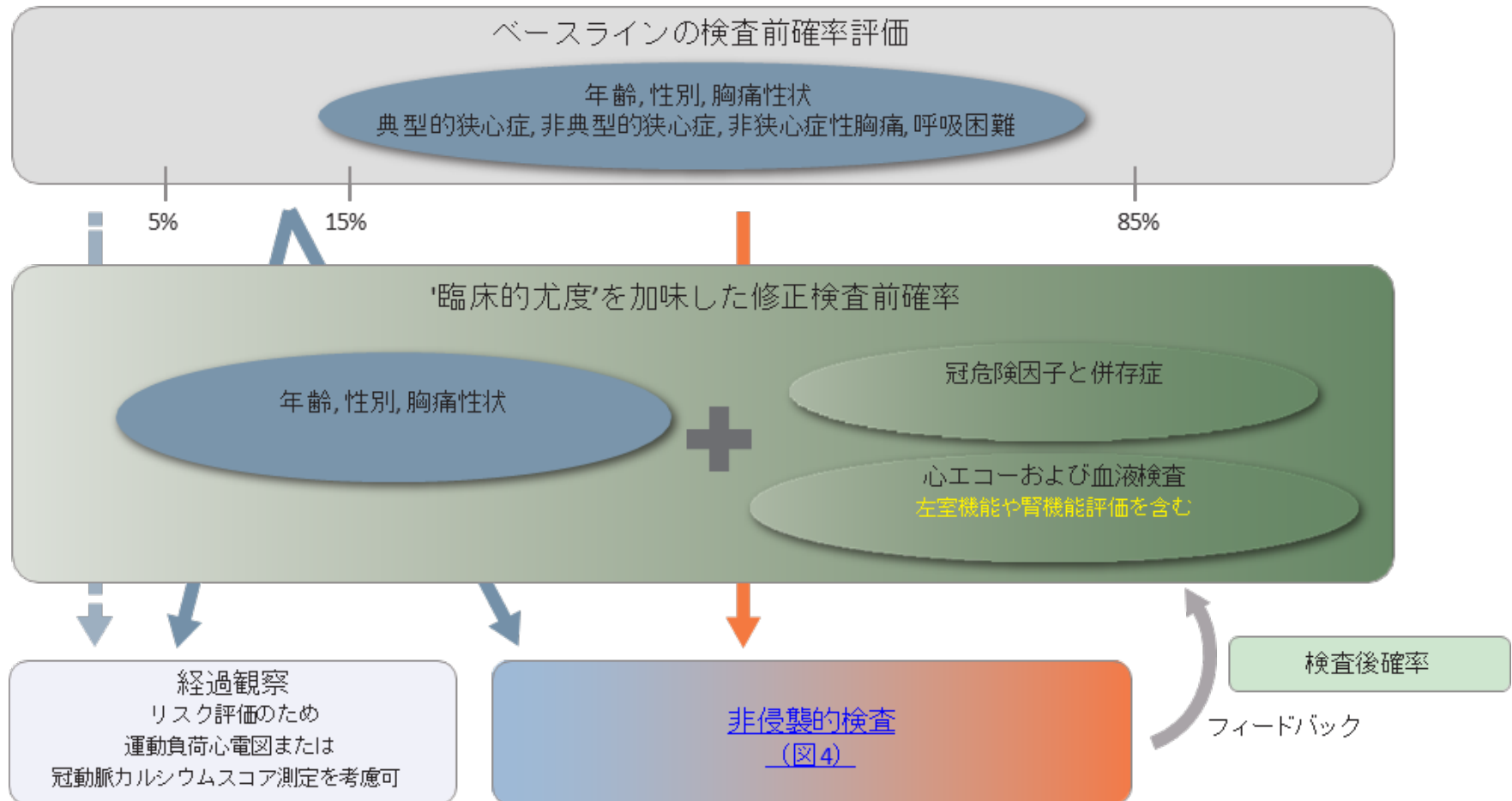
大動脈—冠動脈バイパス

グラフト: 大伏在静脈、内胸動脈、胃大網動脈

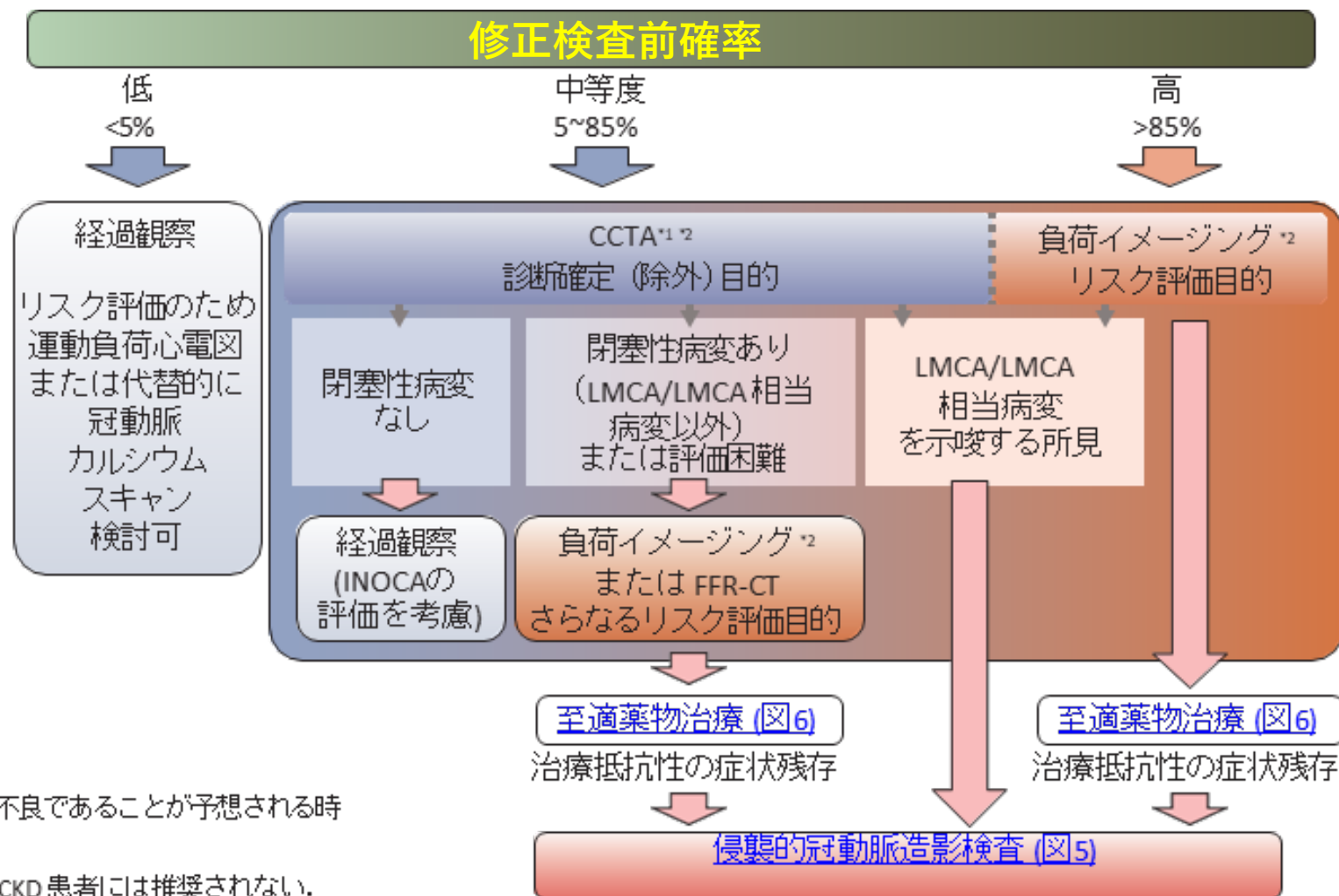
MIDCAB(minimally invasive direct coronary artery bypass)



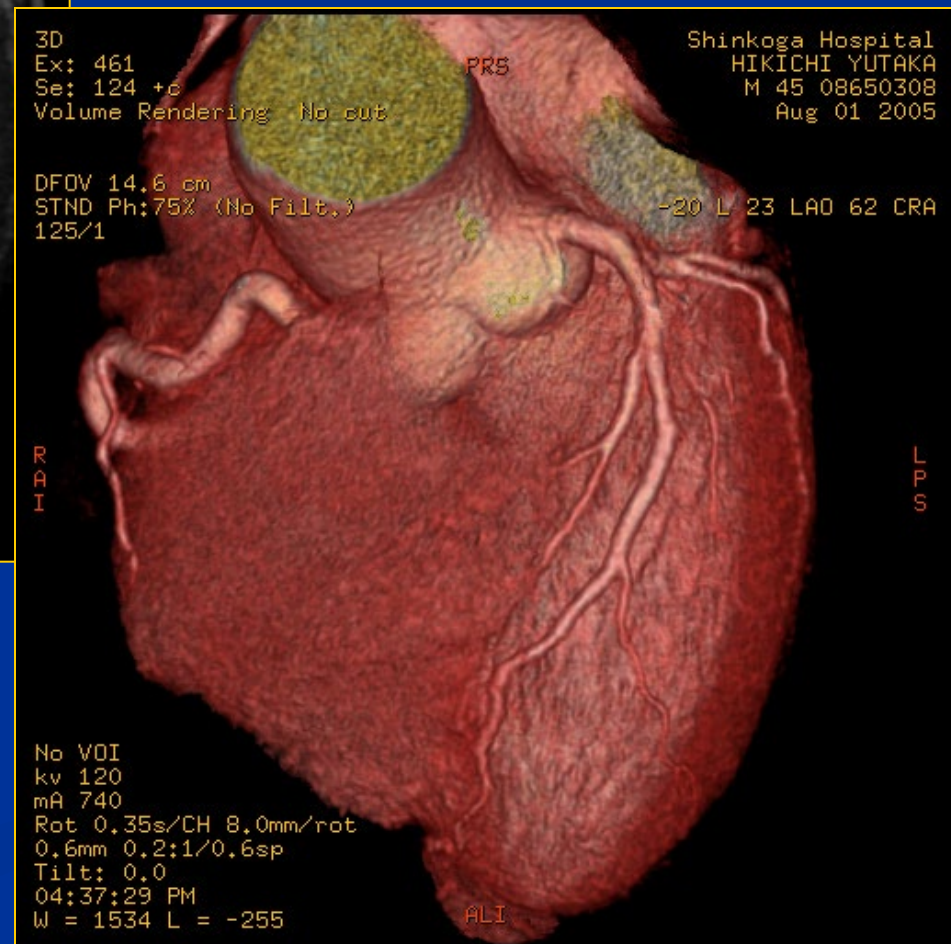
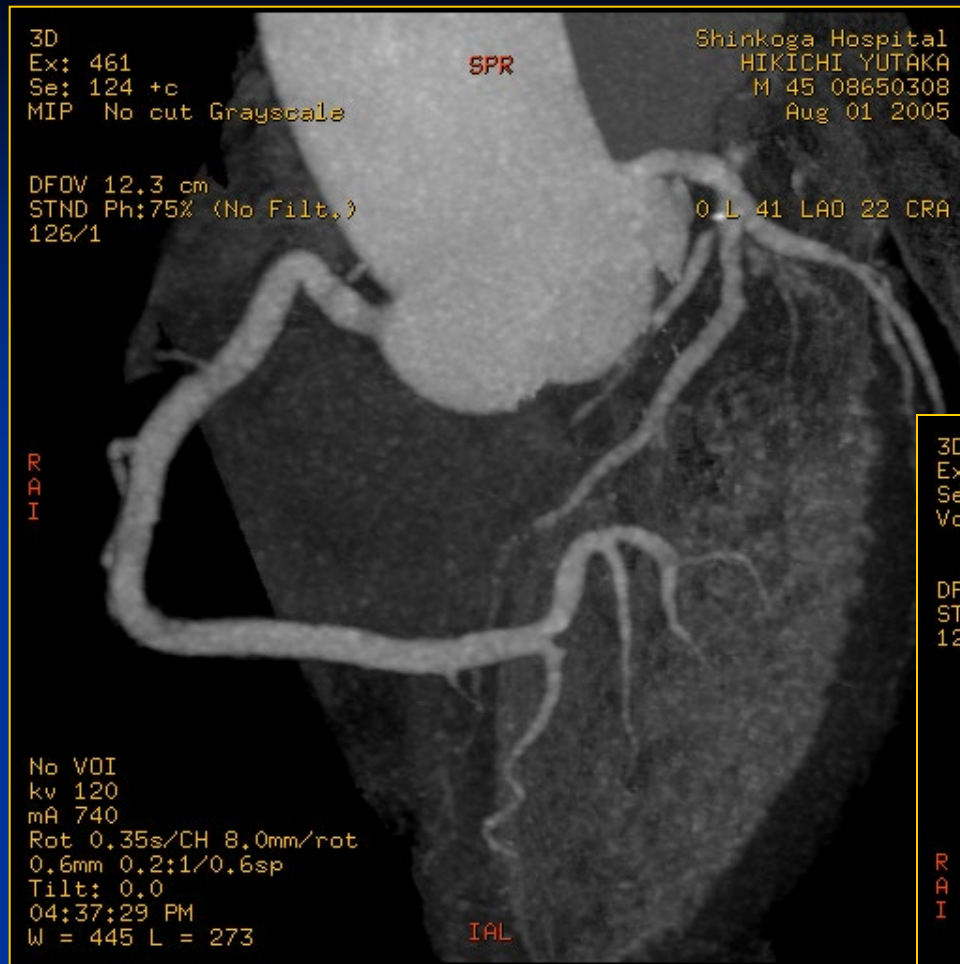
安定 CAD における検査前確率（PTP）・臨床的尤度（CL）の評価の役割



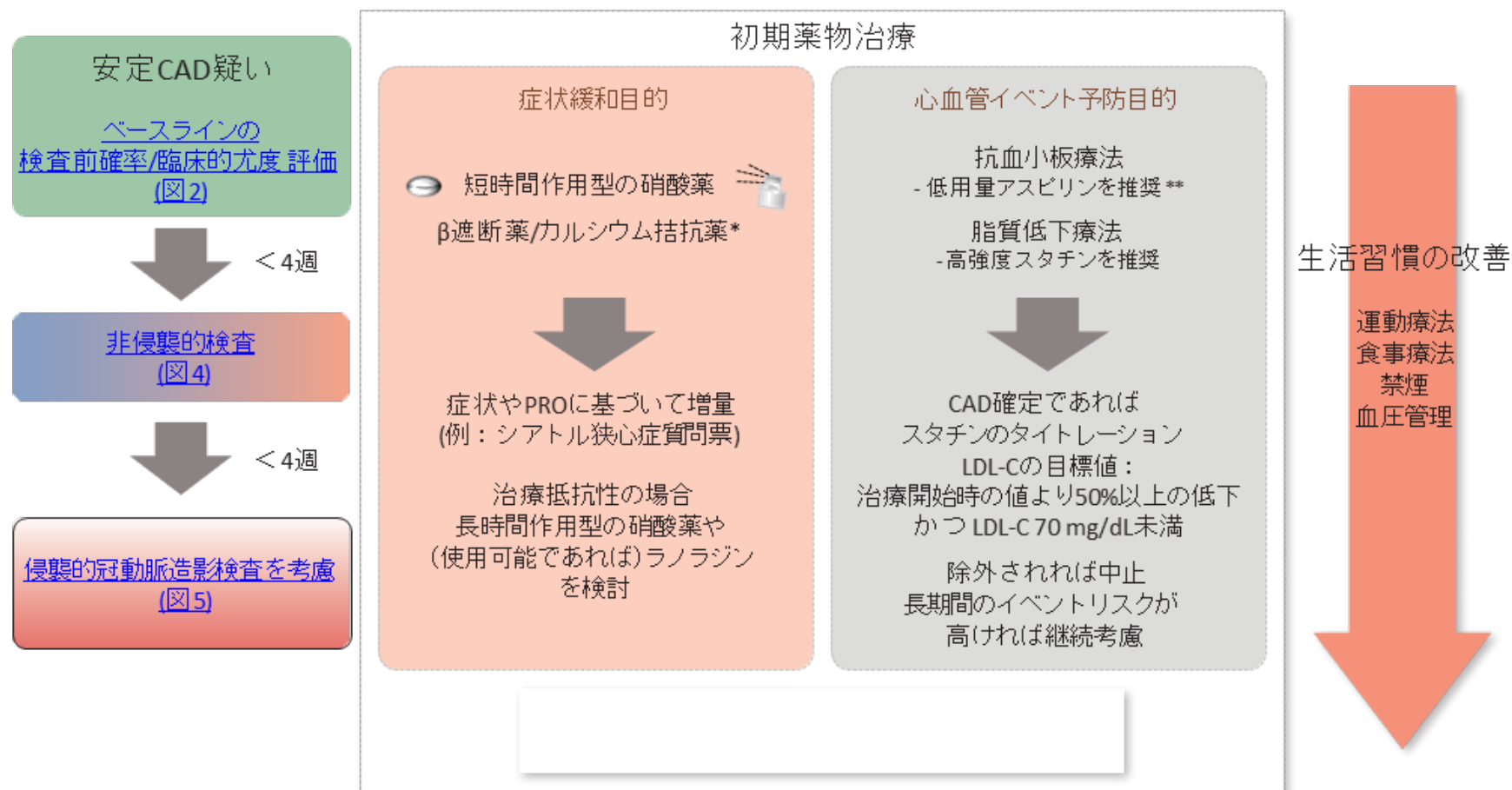
検査前確率（PTP），および画像検査の施設ごとの利用状況に基づく段階的な非侵襲画像検査のための診断フロー



CCTA (冠動脈CT)



安定 CAD について診断・リスク評価中の患者に対する内科的治療の開始フロー



侵襲的冠動脈造影と冠動脈内圧測定の結果に基づく血行再建の適応

